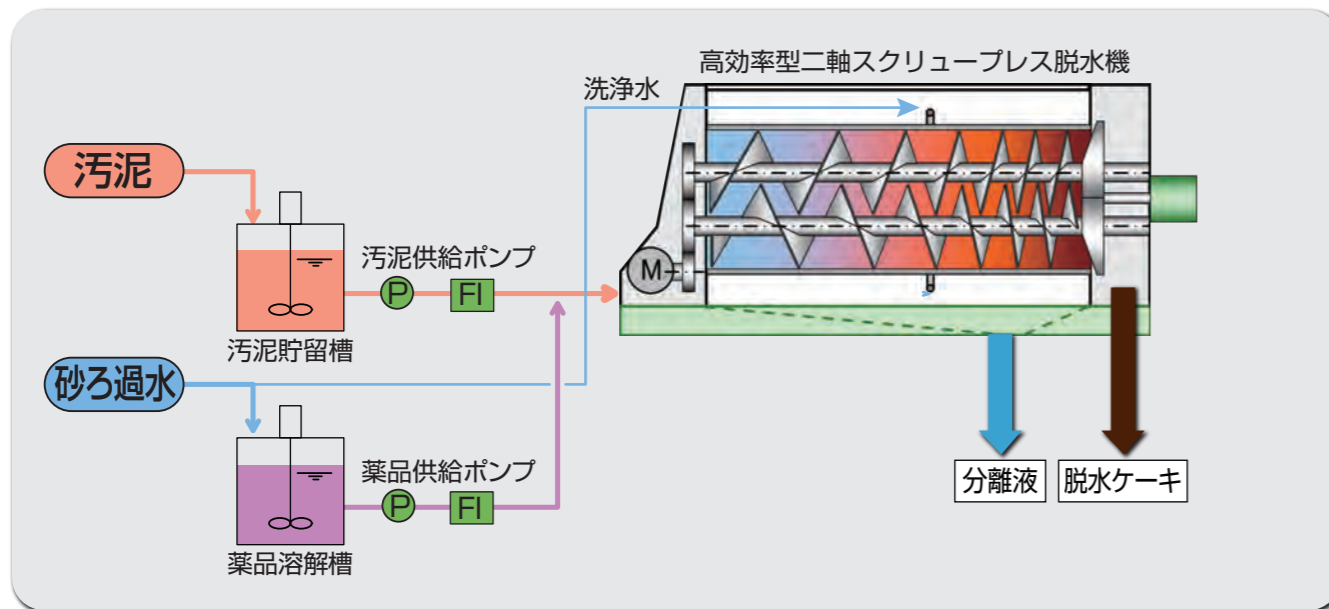


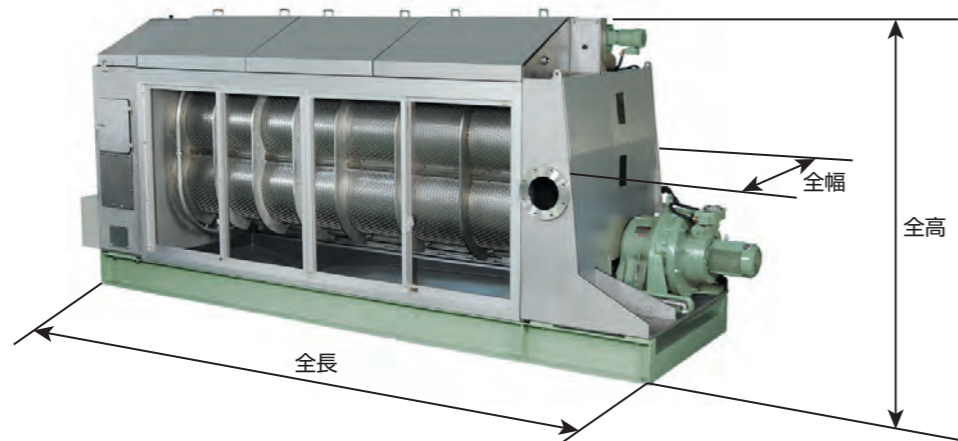
《 高効率二軸スクリーンプレス脱水機の設備フロー 》



■ 標準仕様

スクリーン径		φ300	φ400	φ500	φ600	φ700	φ800	φ900
寸法 (mm)	全 長	2,800	3,500	4,200	4,900	5,700	6,400	7,000
	全 幅	800	900	1,100	1,300	1,500	1,700	1,900
	全 高	1,500	1,600	1,900	2,200	2,600	2,800	3,100
電動機出力 (kW)	駆動装置	0.75	0.75	1.5	2.2	3.7	5.5	7.5
	洗浄装置	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1
	フロキュレータ	0.4	0.4	1.5	2.2	3.7	3.7	3.7

※汚泥種類、汚泥性状によって動力が異なりますので、表中の値は参考値です。



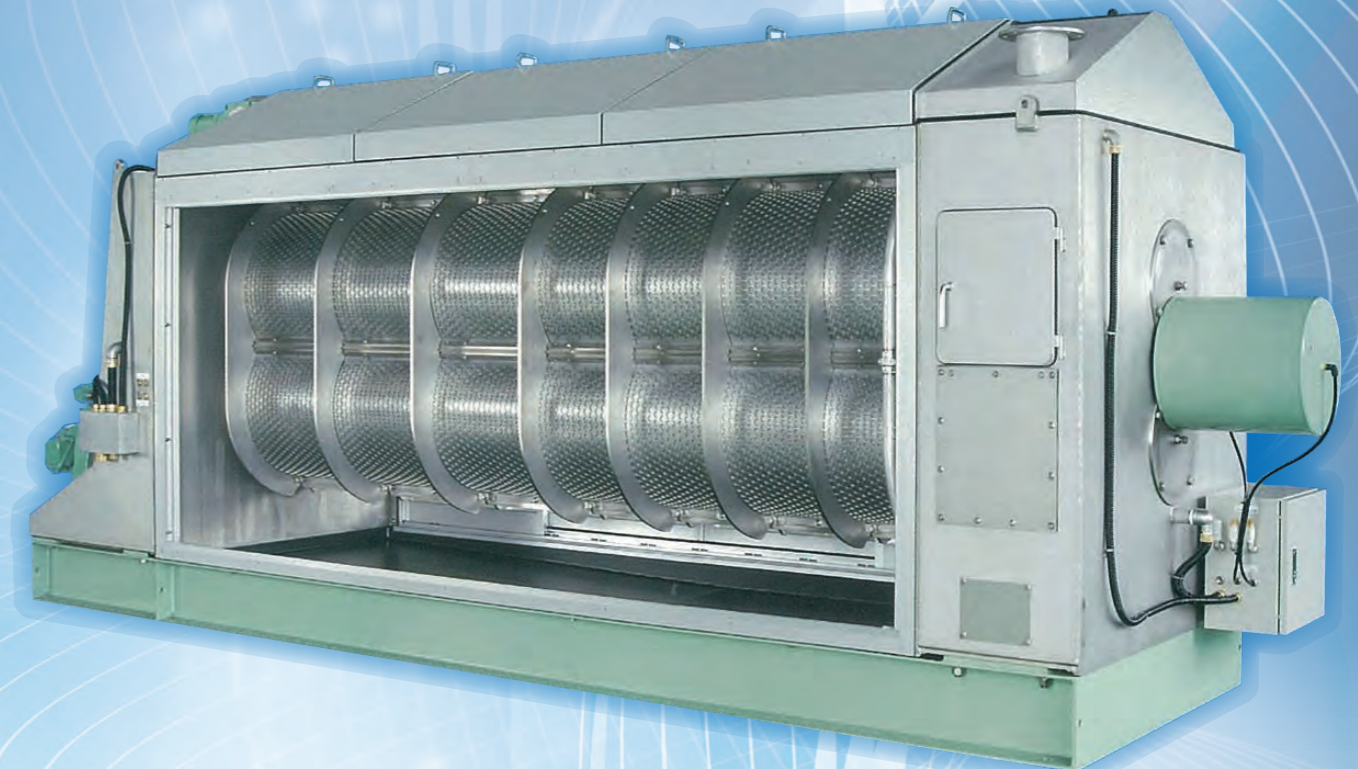
高効率型二軸スクリーンプレス脱水機

(公財)日本下水道新技術機構より
「技術マニュアル(改訂版)」発刊済み

(一社)日本産業機械工業会
第42回優秀環境装置表彰

経済産業大臣賞

受賞



カタログに記載の内容は、改良のため予告なく変更することがあります。



株式会社クボタ

水処理システム営業部

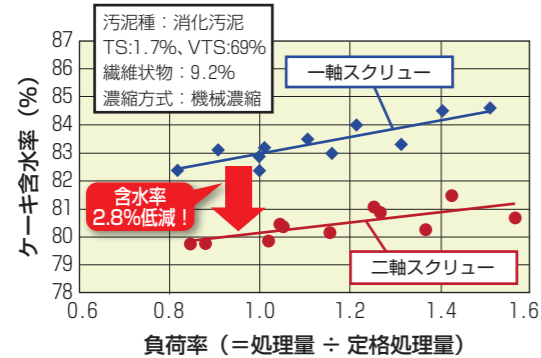
東京本社 〒104-8307 東京都中央区京橋2丁目1番3号 ☎(03)3245-3337
本社阪神オフィス 〒661-8567 兵庫県尼崎市浜1丁目1番1号 ☎(06)6470-5500

二軸化により難脱水性汚泥への対応力を強化

特長 (当社従来機と比較して)

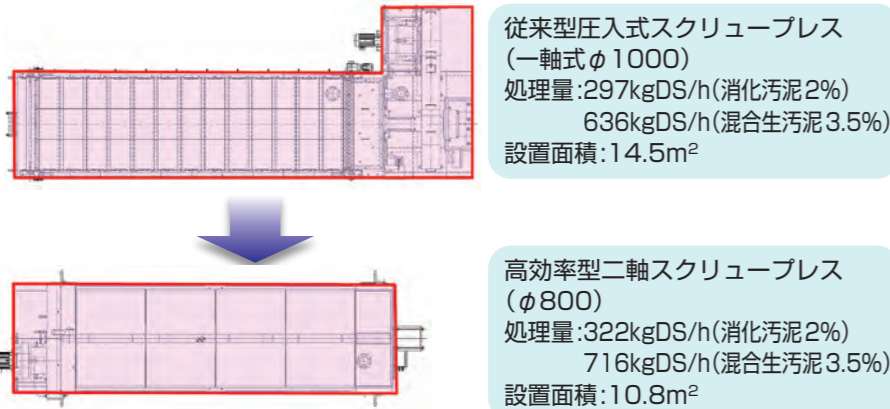
1. 消化汚泥に強い

スクリーンの羽根が噛み合う2軸スクリー機構で、難脱水性汚泥を効率的に脱水します。消化汚泥では従来機よりも2ポイント以上の低含水率が図れ、ケーキ発生量を10%程度抑制できます。



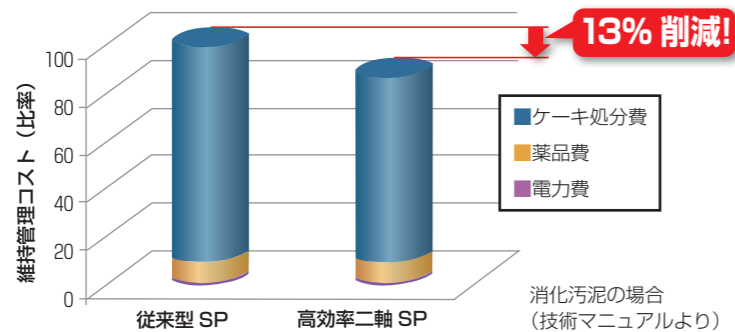
2. コンパクトで省エネ

従来機よりも1~2サイズ小型の機種を適用できるため、1軸式よりも軽量かつコンパクトです。スクリーも小径になりますので、消費動力も増加しません。



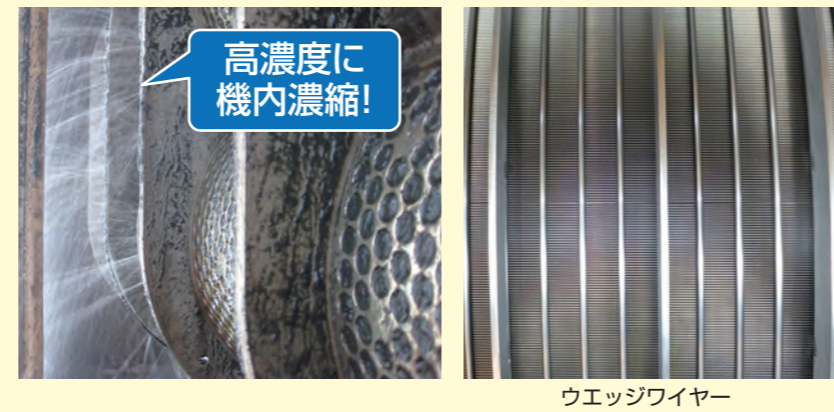
3. トータルコストの削減

建設費だけでなく、オーバーホール費を含めたランニングコストも安価になり、トータルコストの削減が可能です。



前濃縮装置が不要な初期ろ過ゾーン

多条スクリーとろ過ゾーンのウエッジワイヤースクリーンの採用により、**初期ろ過効率を大幅に向上**させました。低濃度汚泥でも速やかな初期ろ過性能が得られるため、別途**前濃縮装置を付加する必要がありません**。また高負荷運転にも柔軟に対応できます。



点検しやすいフロキュレータ

フロキュレータ(凝集装置)には大きな点検窓が付いており、フロックの状態監視がし易い構造です。



採用実例



二軸スクリーによる高圧密ゾーン

中央部に汚泥を巻き込むようにして**高い剪断力**を加え、圧密脱水します。従来の一軸式では難しかった、**羽根の裏面側にある汚泥にも圧密力を与えられる**構造です。二本のスクリーを互いに噛み合う構造としたことから、汚泥はほぐされながら搬送され、一軸式に見られる**汚泥の供回りが起こりません**。

